

東京都歴史教育者協議会歴史散歩の会・同大田支部歴史散歩の会

2012 年度第 3 回歴史散歩のお知らせ

川崎平右衛門の開いた武蔵野新田の史跡を歩く

川崎平右衛門は、1694（元禄7）年、多摩川そった押立村（現府中市）の名主の家に生まれ、武蔵野の開発に功績のあった人です。後に木曾川の改修工事を指導したり、石見銀山奉行にもなりました。

昨年、府中郷土の森博物館の学芸員、馬場治子氏より武蔵野新田についての講義を受けました。今回は武蔵野新田の史跡を歩く歴史散歩を企画しました。

平右衛門は、八代将軍吉宗のもとで、武蔵野の原野を開墾して栗林を作ったり、竹林を作って水害防備林にするなど業績を残しました。一連の功績が認められ、大岡越前守によって武蔵野新田開発の世話役に命じられました。幕命によって玉川上水の維持管理にもたずさわり、小金井付近に6 km ほどの桜を植え、その並木が現在も残っています。関連する幾つかの史跡を見学し、平右衛門の業績を学びたいと思います。

日時 2012 年 11 月 17 日（土）雨天の場合は 11 月 23 日（金）

集合 JR 中央線武蔵小金井駅北口午前 10 時弁当持参ください。

参加費 500 円他にバス代がかかります。

案内 大坪庄吾 松影訓子

行程

[午前] 武蔵小金井駅北口バス停～小金井橋下車～海岸寺（小金井桜の碑、松とひいらぎの名木）→徒歩で玉川上水ぞいを歩く→真蔵院（平右衛門の碑・さんしゅゆの名木）→陣屋橋→小金井公園建物園広場で昼食。

[午後] バスで東小金井駅にでる。JR 東小金井駅より国立駅まで乗車、国立駅北口～北町公園行きバスで並木橋下車→妙法寺（武蔵野新田八〇数カ村で建てた「川崎平右衛門と伊奈半左衛門謝恩塔」）→バス（国立行き）→JR 国立駅午後 3 時頃解散